

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年8月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第29期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日) |
| 【会社名】 | 株式会社コモ |
| 【英訳名】 | COMO CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 木下 克己 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県小牧市大字村中字下之坪505番地の1 |
| 【電話番号】 | 0568(73)7050(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員管理本部長兼経営企画室長 平光 伸行 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県小牧市大字村中字下之坪505番地の1 |
| 【電話番号】 | 0568(73)7050(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員管理本部長兼経営企画室長 平光 伸行 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第28期 第1四半期連結 累計期間 | 第29期 第1四半期連結 累計期間 | 第28期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日 | 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(千円) | 1,413,330 | 1,342,677 | 5,426,273 |
| 経常利益(千円) | 58,961 | 41,389 | 157,897 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 31,531 | 18,841 | 65,792 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 25,993 | 15,224 | 65,010 |
| 純資産額(千円) | 997,414 | 1,026,284 | 1,036,431 |
| 総資産額(千円) | 4,395,431 | 4,649,390 | 4,693,610 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円) | 8.70 | 5.20 | 18.15 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 22.7 | 22.1 | 22.1 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要、個人消費や設備投資の持ち直し等、国内景気は緩やかな回復の兆しはみられるものの、欧州債務危機や長期化する円高等により、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、消費者の食に対する安心・安全志向に加えて、低価格志向のより一層の高まり等、引続き厳しい経営環境で推移しております。

こうしたなかで、当社グループは前連結会計年度に引き続き、パネトーネ種の特性を活かした新製品の開発に努めました。「デニッシュ」において、夏期限定製品として「デニッシュグレープミント」「北海道ふらのメロン小町」を投入したほか、「デニッシュカフェラテ」を新発売しました。さらに、通信販売限定製品2品、生活協同組合やコンビニエンスストア向けPB製品3品を新発売しました。

売上高につきましては、自動販売機による販売においては、優良ロケーションへの積極的な設置により売上増加できたものの、卸問屋を中心に、競合他社の低価格製品導入によりシェアを奪われている業態もあり、当初の見込みをやや下回る結果となりました。

利益面につきましては、製造ラインで使用する消耗品購入の見直し、また、配送費については、配送委託の効率化の推進等により、当初の見込みを上回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13億4千2百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益4千3百万円（前年同期比30.4%減）、経常利益4千1百万円（前年同期比29.8%減）、四半期純利益1千8百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

（2）財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減少し、46億4千9百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加（4千5百万円）、受取手形及び売掛金の減少（4千2百万円）、機械装置及び運搬具の減少（3千5百万円）などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3千4百万円減少し、36億2千3百万円となりました。これは主に未払金の増加（5千9百万円）、夏季賞与の支給による賞与引当金の減少（4千4百万円）、長期借入金の返済による減少（3千6百万円）、買掛金の減少（2千9百万円）、などによるものであります。

なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ1千万円減少し、10億2千6百万円となり、自己資本比率は22.1%となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1千万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 9,600,000 |
| 計 | 9,600,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年8月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 3,630,000 | 3,630,000 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 3,630,000 | 3,630,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年4月1日～ 平成24年6月30日 | - | 3,630,000 | - | 222,000 | - | 134,400 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 5,500 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 3,622,700 | 36,227 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,800 | - | - |
| 発行済株式総数 | 3,630,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 36,227 | - |

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社コモ | 愛知県小牧市大字村 中字下之坪505番地 の1 | 5,500 | - | 5,500 | 0.15 |
| 計 | - | 5,500 | - | 5,500 | 0.15 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 572,171 | 617,834 |
| 受取手形及び売掛金 | 870,790 | 827,804 |
| 商品及び製品 | 35,855 | 35,137 |
| 仕掛品 | 8,575 | 10,497 |
| 原材料及び貯蔵品 | 63,955 | 68,569 |
| その他 | 48,751 | 36,739 |
| 貸倒引当金 | 200 | 200 |
| 流動資産合計 | 1,599,898 | 1,596,383 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 660,234 | 643,343 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 649,285 | 613,326 |
| 土地 | 1,187,049 | 1,187,049 |
| リース資産(純額) | 109,785 | 125,785 |
| その他(純額) | 28,252 | 27,812 |
| 有形固定資産合計 | 2,634,605 | 2,597,316 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 1,897 | 1,649 |
| その他 | 20,510 | 21,328 |
| 無形固定資産合計 | 22,407 | 22,978 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 177,019 | 171,441 |
| その他(純額) | 259,712 | 261,336 |
| 貸倒引当金 | 34 | 64 |
| 投資その他の資産合計 | 436,697 | 432,712 |
| 固定資産合計 | 3,093,711 | 3,053,007 |
| 資産合計 | 4,693,610 | 4,649,390 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 438,388 | 409,161 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | 100,000 |
| 短期借入金 | 2,266,800 | 2,266,800 |
| リース債務 | 32,166 | 36,693 |
| 未払金 | 240,090 | 299,182 |
| 未払法人税等 | 19,399 | 8,719 |
| 賞与引当金 | 60,089 | 15,721 |
| その他 | 120,431 | 128,983 |
| 流動負債合計 | 3,277,365 | 3,265,260 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 124,700 | 88,000 |
| リース債務 | 89,835 | 102,127 |
| 退職給付引当金 | 53,350 | 56,734 |
| 役員退職慰労引当金 | 77,915 | 80,127 |
| その他 | 34,012 | 30,856 |
| 固定負債合計 | 379,813 | 357,845 |
| 負債合計 | 3,657,179 | 3,623,106 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 222,000 | 222,000 |
| 資本剰余金 | 134,400 | 134,400 |
| 利益剰余金 | 2,616,814 | 2,610,285 |
| 自己株式 | 8,387 | 8,387 |
| 株主資本合計 | 2,964,827 | 2,958,297 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,260 | 643 |
| 土地再評価差額金 | 1,932,656 | 1,932,656 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,928,395 | 1,932,013 |
| 純資産合計 | 1,036,431 | 1,026,284 |
| 負債純資産合計 | 4,693,610 | 4,649,390 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,413,330 | 1,342,677 |
| 売上原価 | 918,713 | 875,315 |
| 売上総利益 | 494,617 | 467,361 |
| 販売費及び一般管理費 | 432,705 | 424,270 |
| 営業利益 | 61,911 | 43,090 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 885 | 672 |
| 受取家賃 | 5,638 | 4,551 |
| リサイクル委託費用返戻金 | 564 | 655 |
| 助成金収入 | 1,050 | 1,050 |
| その他 | 657 | 833 |
| 営業外収益合計 | 8,796 | 7,763 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,447 | 7,920 |
| その他 | 3,298 | 1,544 |
| 営業外費用合計 | 11,746 | 9,465 |
| 経常利益 | 58,961 | 41,389 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5 | 65 |
| 特別損失合計 | 5 | 65 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 58,955 | 41,324 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,052 | 6,857 |
| 法人税等調整額 | 18,370 | 15,624 |
| 法人税等合計 | 27,423 | 22,482 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 31,531 | 18,841 |
| 四半期純利益 | 31,531 | 18,841 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 31,531 | 18,841 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 5,537 | 3,617 |
| その他の包括利益合計 | 5,537 | 3,617 |
| 四半期包括利益 | 25,993 | 15,224 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 25,993 | 15,224 |

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した建物(建物附属設備は除く)以外の有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 123千円 | 168千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 74,140千円 | 69,565千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 25,371 | 7 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 25,371 | 7 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月28日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

当社グループは、ロングライフパンの製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 8円70銭 | 5円20銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 31,531 | 18,841 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 31,531 | 18,841 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 3,624 | 3,624 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月14日

株式会社コモ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 博文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉原 弘恭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コモの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コモ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。